

定量止水ユニット (自動水止めタイプ)

TH535型
TH535-1型
TH535-2型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

この商品は自動水止め水栓金具専用です。
TH535型・TH535-1型 をご使用の場合、使用方法が変わりますので使用方法ラベルを参照のうえ、使いかたをお客様にご説明ください。





1 安全上の注意




取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。



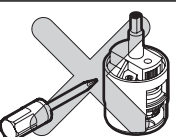
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

	警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

		は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
		は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 必ず実行	定量ユニットを取り外す際は、必ず止水栓または配管部の元栓を閉めてから行う 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	 止水栓 閉める

 注意	
 分解禁止	定量ユニットは絶対に分解しない 特殊組立をしておりますので破損します。
	

この施工説明書では、お客様が現在ご使用の商品を (A)・(B) タイプ別に分けて取替方法を掲載しております。

※ (B) タイプをご使用の場合、別途専用工具「TZ8」が必要となります。

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
※使用方法ラベルは必ずお客様にお渡しください。

ユニット品番	タイプ	対象商品品番	同梱部品
TH535型 (ハンドル付き)	(A)	TM525型	キャップ 座金付き小ねじ 定量ハンドル (板ばね付き)
		TM545型	座金 ピン ストッパー-A ストッパー-B ユニットカバー
TH535-1型 (ハンドル付き)	(A)	TM500A型	定量止水ユニット ばね バルブ 小パッキン (バルブカバー用) 使用方法ラベル
TH535-2型	(A)	TUM247型	定量止水ユニット
		TM500A型	
		TM247型	
		TM248型	
		TM525型	
	(B)	TM526型	ばね バルブ 大パッキン (ユニットカバー用) 小パッキン (バルブカバー用) Yパッキン (ユニットカバー用)
		TM545型	
		TMF47型	
		TMG47型	
		TMJ47型	
TMJ48型			
TMY9型			
TM697A型			
TUMJ47A型			
TUMJ48C型			
TM297型			

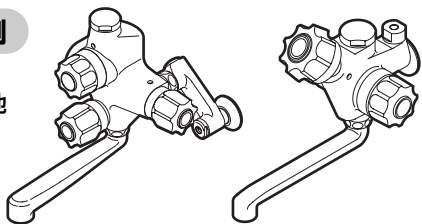
3-1 取替方法

①タイプ商品の場合

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

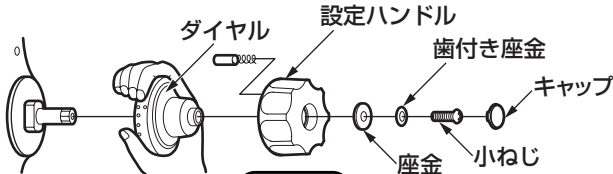
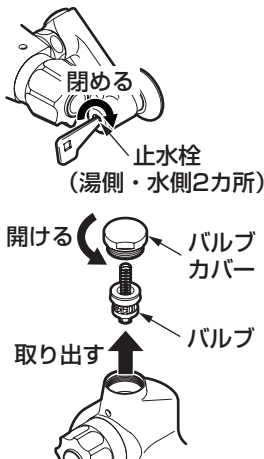
①タイプ例

TM500A型
TM525C型 他



1 旧ユニットの取り外し

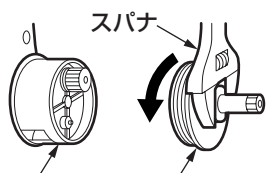
- 湯側・水側の止水栓を閉める。
- 定量ハンドルを時計回りに回し水が出ないことを確認する。
- 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。
- バルブカバーを開け、バルブを取り出す。
- キャップを外し、ダイヤルを握り、小ねじをゆるめて設定ハンドルを抜き取る。



注意

キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、ハンドルの表面を傷つけないように注意しながら外してください。

- ユニットカバーを外し、旧定量止水ユニットを取り外す。
- ※一部形状が異なる商品があります。



旧定量止水ユニット ユニットカバー

2 新ユニットの取り付け

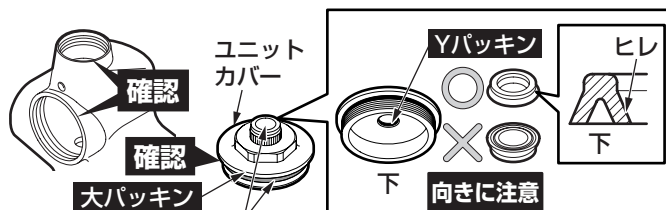
注意

同梱の部品を全て使用するようにし、不足する部品は、本体から取り外したものを再使用してください。

- 本体、ユニットカバーに異物が付着していないか確認する。

注意

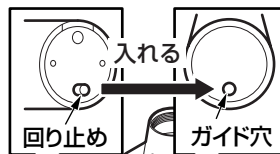
異物が付いている場合は、水洗いして洗い流してください。



TH535-2型の場合
大パッキン、Yパッキン
を取り替える。

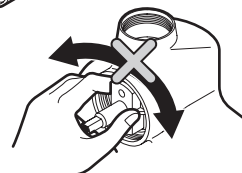
必ずねじ側にヒレがくるようにセットしてください。水漏れするおそれがあります。

- 本体奥にあるガイド穴に定量止水ユニットの回り止めが入るように定量止水ユニットを組み込む。



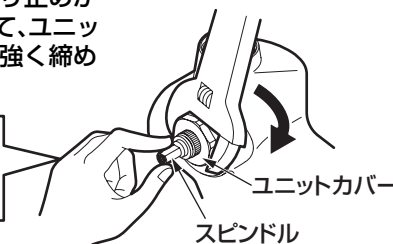
定量止水ユニット

- 定量止水ユニットの回り止めがガイド穴に確実に入っているかを左右に回して確認する。



- 定量止水ユニットの回り止めが外れないように注意して、ユニットカバーをねじ込み、強く締め付ける。

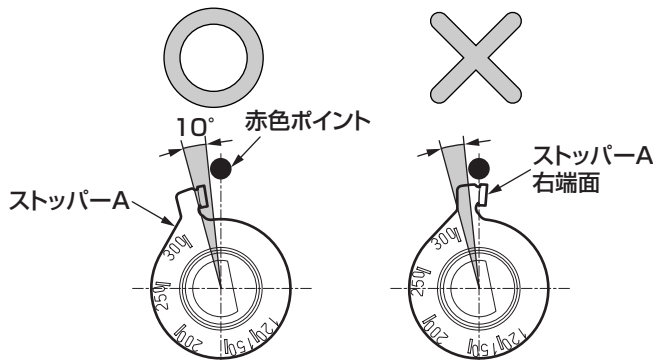
スピンドルを指で押さえながらユニットカバーを強く締め付ける



3 ストッパーの取り付け

ストッパーAに目盛りが表示されている場合

- 下図のグレー部内にストッパーA（目盛り付き）の右端面をあわせユニットカバーにセットする。



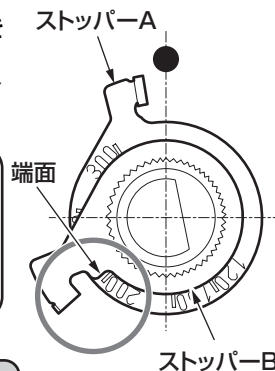
注意

ストッパーA（目盛り付き）の右端面を赤色ポイントより右側にセットしないように注意してください。

- ストッパーAの数字（希望湯量）のラインとストッパーBの端面をあわせる。
※右図は200Lにセットした場合

豆知識

浴槽の希望湯量以上に定量ハンドルが回らないようにストッパーを120L～300Lまで10Lごとにセットできます。



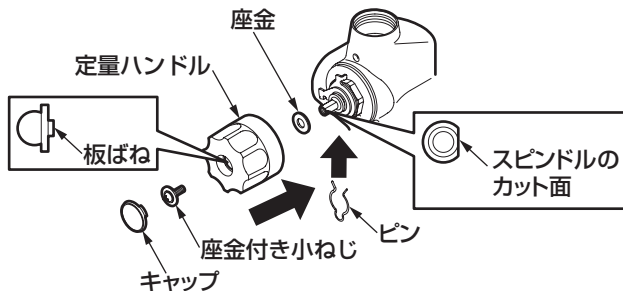
注意

120L以下にはセットしないでください。

裏面へつづく

4 定量ハンドルとバルブの取り付け

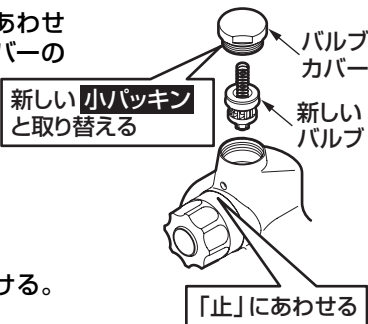
①ピンをはめ、座金を入れたあとに定量ハンドルを座金付き小ねじで取り付け、キャップをはめる。



注意

- 座金を必ず入れてください。入れ忘れると止水しません。
- 定量ハンドルを入れる際、板ばねが出てきたときは、ドライバーなどで元どおりに押し込んでください。

②定量ハンドルを「止」にあわせてからバルブ、バルブカバーの順で取り付け。



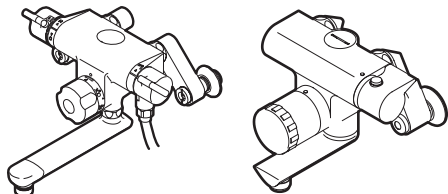
③湯側・水側の止水栓を開ける。

取替方法 Bタイプ商品の場合

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

Bタイプ例

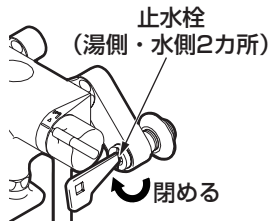
- TMF47型
- TMG47型
- TMJ47型
- TMJ48型
- TMJ9型
- TM697A型
- TUMJ47A型
- TUMJ48C型 他



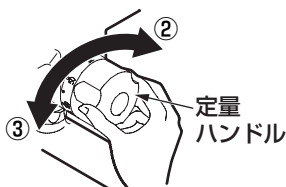
1 旧ユニットの取り外し

①湯側・水側の止水栓を閉める。

※台付きタイプは元栓を閉めてください。

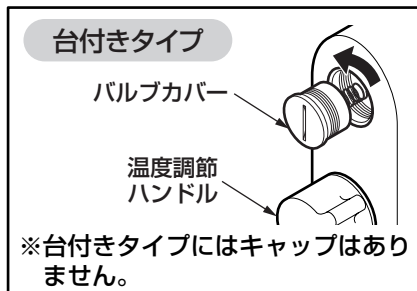


②定量ハンドルを時計回りに回し水が出ないことを確認する。



③定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。

④本体上面のキャップをピンなどを使って取り外し、バルブカバーを開ける。

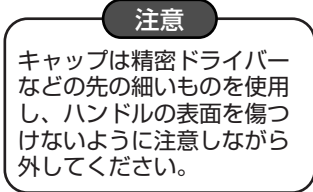


※台付きタイプにはキャップはありません。

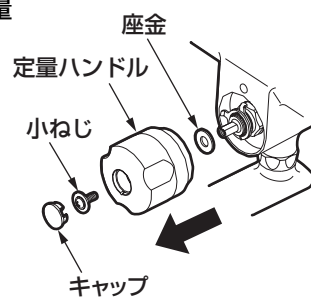


⑤バルブを取り出す。

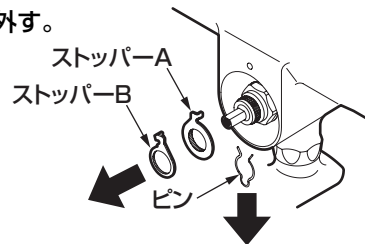
⑥キャップ、小ねじを外し、定量ハンドル、座金を外す。



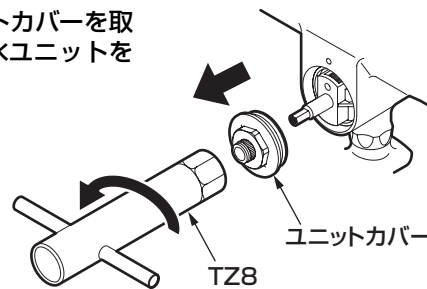
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、ハンドルの表面を傷つけないように注意しながら外してください。



⑦ピン、ストッパーを取り外す。



⑧TZ8にて、ユニットカバーを取り外し、旧定量止水ユニットを取り外す。

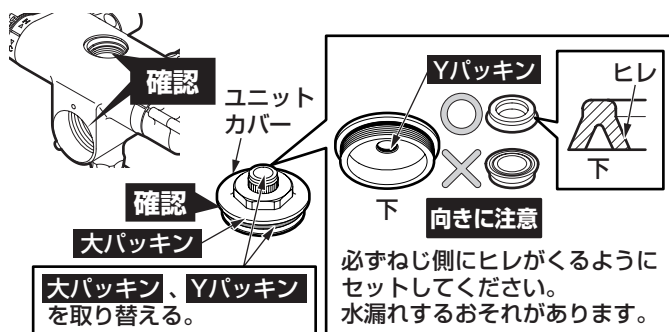


2 新ユニットの取り付け

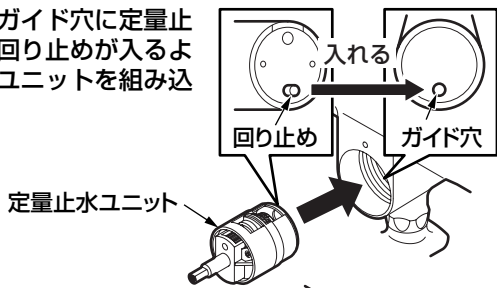
①本体、ユニットカバーに異物が付着していないか確認する。

注意

異物が付いている場合は、水洗いして洗い流してください。



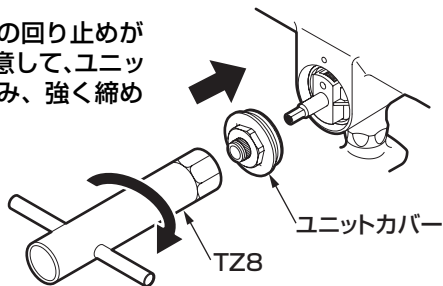
②本体奥にあるガイド穴に定量止水ユニットの回り止めが入るように定量止水ユニットを組み込む。



③定量止水ユニットの回り止めがガイド穴に確実に入っているかを左右に回して確認する。

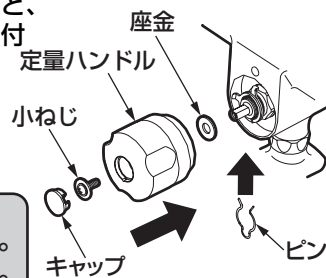


④定量止水ユニットの回り止めが外れないように注意して、ユニットカバーをねじ込み、強く締め付ける。



4 定量ハンドルとバルブの取り付け

①ピンをはめ、座金を入れたあと、定量ハンドルを小ねじで取り付け、キャップをはめる。



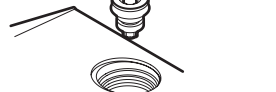
注意

座金を必ず入れてください。入れ忘れると止水しません。

②定量ハンドルを「止」にあわせてからバルブ、ばね、バルブカバー、キャップの順で取り付け。



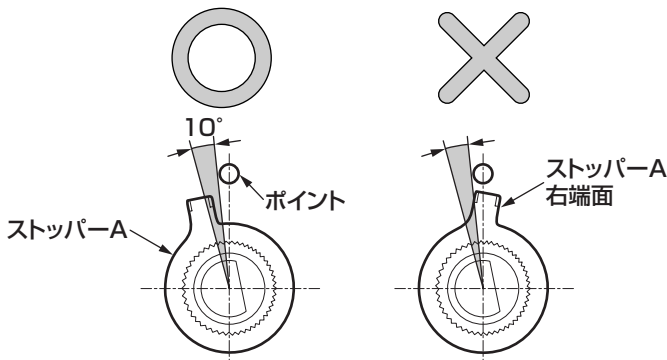
③湯側・水側の止水栓を開ける。



3 ストッパーの取り付け

ストッパーBに目盛りが表示されている場合

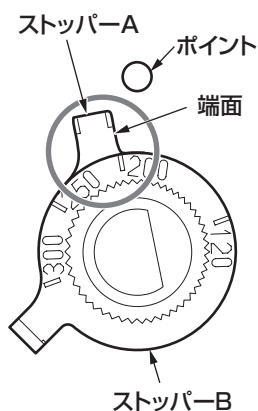
①下図のグレー部内にストッパーAの右端面をあわせユニットカバーにセットする。



注意

ストッパーAの右端面をポイントより右側にセットしないように注意してください。

②ストッパーAの端面とストッパーBの数字（希望湯量）のラインをあわせる。
※右図は200Lにセットした場合



豆知識

浴槽の希望湯量以上に定量ハンドルが回らないようにストッパーを120L~300Lまで10Lごとにセットできます。



注意

120L以下にはセットしないでください。

5 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

	点検項目	正常な状態
点検1	定量ハンドルを 印以上（目盛り120以上）に回転し、図のグレー部内で止めたのち「止」側にゆっくり戻して止水位置を確認する。	定量ハンドルがスムーズに回転し、図のグレー部内で止水すれば問題ありません。
点検2	定量ハンドルを最大目盛りまで回したのち、止水直前までゆっくり戻し、手を離して放置したとき、しばらくして自動止水するか確認する。	定量ハンドルがスムーズに回転し、図のグレー部内で止水すれば問題ありません。

浴槽に湯をためるとき目盛りの上に貼っておくと便利です。

下に添付している適量ラベルを設定目盛りの上に貼り付けてください。
※ハンドル表面の汚れや水分をよくふきとってから貼り付けてください。

